



♪ 寄する波も 貝の色も ……

—— 第1回浜辺の歌音楽祭で(写真は森吉中学校)

「第1回浜辺の歌音楽祭」が11月4日、市文化会館で開催されました。米内沢出身の作曲家・成田為三を顕彰し、本市を歌のあふれるまちにしようとして始まったもの。幼稚園から一般までの各グループが「浜辺の歌」など成田為三の歌を合唱で発表、ホール一杯にさわやかな歌声を響かせました。(8・9頁に関連記事)。



広報 [No.40]

きたあきた

11 / 16

[1日.16日 月2回発行]

2006年



▲地場産材を使った各種製品



▲工芸技術の粋を極めた「傘天井」(鷹巣技術専門校)



▲農畜産物品評会に出品された見事な農産物



▲米内沢高校は大潟村のレースに出場したソーラーカーを展示



▲森吉牛の「インディアン焼き」が来場者に振舞われました

▶イベント「家の母ちゃん、父ちゃんのお祖父母のつくったものは日本一」でお祖父さんが作った神棚を紹介し、「和やかスピーチ賞」を受けた九島菜美さん(鷹巣高校3年)



▲「のみ」や「かな」など昔ながらの道具を使い、手仕事による職人の技を披露した鷹巣建設技能組合の技能競技会。全県大会と同じ課題で行われ、注目を受けていました。右の写真は、過去の全県競技会で入賞した組合員が製作した課題作品。さまざまな匠の技が使われています



▲小森川流域から産出される「錦石」を加工したアクセサリ類。地場産業としての活用も模索されています



▲鷹巣農林高校は、実習で生産した木炭から作った「木酢液」を販売



多くの人出でにぎわった第1回産業祭

第1回市北秋田市産業祭

会場を一本化し開催

農・工・商に市民の活力

「見直そう 活かそう 郷土の資源」をテーマとした第1回北秋田市産業祭が10月28日・29日の2日間、鷹巣体育館を会場に開催され、農・工・商全般にわたる展示品の観覧や特産品を買い求める多くの人でにぎわいました。当日の様子をご紹介します。

合併初年度の昨年、産業祭は旧町ごとに分散開催されましたが、市全体の地場産業の振興や地域経済の活性化を図るため、市や商工会、JAなどで作る実行委員会が主催し、今年から一本化したイベントとして開催されました。

今年出展した事業者の数は全部で49。館内では、JA農産物品評会や漬物、お菓子ほか特産品の販売、アパレル、木材、珪藻土などの事業者による企業製品の展示や販売、鷹巣農林高校、米内沢高校、鷹巣高校の学校活動の紹介、秋田内陸線や大野台工業団地のPR、鷹巣技術専門校の展示・販売が行われたほか、ステージでは郷土芸能「五味掘餅搦踊り(28日)」「根子番楽(29日)」の演示、子どもたちが父母・祖父母の作ったものを紹介、PRするイベント「家の母

ちゃん、父ちゃんのお祖父母のつくったものは日本一(29日)」が来場者を楽しませました。

今年は、市や県が市内の事業者などと連携し特産品開発に取り組んだ成果も発表されました。28日に行われたのは「渾身の皿競演会」。これは、魅力あふれる市独自の調理メニューの創作・開発などをねらいとした「第1回北秋田市新うめもん品評会」で入賞した優秀作品をお披露目するもので、調理部門3、お菓子部門1の4事業者が入賞した作品の特長や完成までの取り組みについて紹介しました。

また、特産品の需要の拡大及び品質の向上を図ることを目的として今年度からスタートした「北秋田市特産品推奨認定制度」で推奨認定を受けた45品目の特産品が展示され、訪れる人の目を引いていました。(こ

れらの事業については、4・5頁で詳細を紹介しています)

このほか、注目されていたのは、鷹巣建設技能組合(三沢正悦組合長)の組合員による全県技能競技大会と同様の課題で行われた競技の実演。同組合の青年部、壮年部の8人が、「振れ隅木、平タルキ」と呼ばれる小屋組みの一部を規定の6時間以内に完成させる、という競技に真剣な眼差しで取

り組んでいました。

サブ体育館と屋外のテント村では「びつくり商業祭」が開かれ、格安商品や「やまと豚」などの特産品に財布のヒモも緩くなっていたようでした。

また、市民プール横では森吉地区で生産されている地場産牛の大試食会が行われ、集まった市民に豪快な「インディアン焼き」が振舞われました。



▲今年度の審査会で認定され、産業祭で展示された推奨認定特産品。従来からある商品のほか、新たに商品化を目指している物産も認定されました

また、特産品の需要の拡大及び品質の向上を図ることを目的として今年度からスタートした「北秋田市特産品推奨認定制度」で申請のあった特産品の審査会が産業祭前日の27日、鷹巣体育館で行われ、45品目が推奨認定特産品の認定を受けました。

この制度は、市内の事業者が生産する物産を推奨認定することにより、特産品としての付加価値を高め、需要拡大と品質向上を図るとともに、知名度アップと販路拡大につなげることを明示したシールを貼ることができ、市では、市が主催もしくは参加するイベントで優先的に出品、また、市作成の観光パンフやホームページで紹介し、PRや販路拡

審査会は、今後も継続して実施する予定です。商品のPR、販路拡大にぜひこの制度をご利用ください。この制度を含め、物産振興等についてのお問い合わせは、市産業部商工観光課まで（☎62-6639）

▶認定申込があった物産を吟味する審査員、素材や品質などの認定基準・要件に照らして審査が行われ、申込数75品目のうち認定は45品目という厳しい結果となりました



「北秋田市特産品推奨認定制度」による審査会（10月27日）

宿泊施設など24の事業者から34品。内訳は、比内地鶏をメインとしたものが20、山の芋が9、こはげが5（うちお菓子3）。いずれも腕自慢の職人が工夫を凝らした和食、洋食、中華風の料理がずらりと並びました。審査は、岸部市長、武藤地域振興局長ほか、JAや商工会で食材を担当している職員など13人の審査員が行われ、料理部門、お菓子部門からそれぞれ最優秀賞「金のレドール（お玉）賞」などが選ばれました。受賞者は次のとおりです。



▲料理部門の最優秀賞「金のレドール賞」を獲得した比内地鶏の調理メニュー。ムネ肉を半生で焼き上げたもの。ししとう味噌とネギムチソースが添えられています。

②「銀のレドール賞」(南池田屋(村上一美代表) ③「銅のレドール賞」(鷹巣観光苑(畠山幸子代表) ■お菓子部門 ①「プラチナホイッパ賞」(鷹松堂(湊屋啓二代表)

大に協力することとしています。今回申込があった品目は27事業者から75点。うちお菓子や漬物、麺類などの食品が62点、木工品や飾り物などの工芸品が13点でした。審査会では、審査員長の吉田茂北秋田市産業部長が、「この制度を活用し、産業祭を機に国体や植樹祭などのイベントに認定された特産品を提供し、全国へ市をPRして行きたい」などあいさつしました。

審査による今年度の推奨認定品は食料品41点、木工品4点の計45点



▲「うめーもん品評会」の優秀作品をお披露目した市産業祭「渾身の一皿競演会」。受賞者が作品の特長や完成までの取り組みについて紹介しました

▶「第1回北秋田市新うめーもん品評会」で、ずらりと並んだ料理を一点づつ評価する審査員。審査会までの時間が短かったものの、意欲に満ちたプロの事業者から工夫を凝らした優れた作品が多数応募されました



味覚&特産品

物産開発で北秋田市を全国にPR!

「第1回北秋田市新うめーもん品評会」「北秋田市特産品推奨認定制度」

来年は秋田わか杉国体、平成20年には全国植樹祭と全国規模のイベントが本市で開催されます。本市を県内外にPRできる好機を間近に控え、産業面での大きな振興策になることが期待されている物産開発。市や県、関係機関では、全国に発信できる

特産品や調理メニューなどの新たな開発に向けてさまざまな取り組みを行っています。振興策の一つとしてこのほど行われた「第1回新うめーもん品評会」と、特産品の需要拡大などを目的とした「北秋田市特産品推奨認定制度」をご紹介します。

新たな食ビジネスに向けて発信

●出品は34品「第1回北秋田市新うめーもん品評会」

地場産品の「比内地鶏」「山の芋」「こはげ(木の実)」を使った料理・お菓子を創作

魅力あふれる調理メニューやお菓子の創作・開発などを目的として行われたのが、10月24日に市内のホテルで開かれた「第1回北秋田市新うめーもん品評会」。

この品評会は、市食品衛生協会に加入する北秋田市と上小阿仁村の飲食店、宿泊施設、JA、商工会、及び行政などで組織する「北秋田市うめーもん創作協議会(松田正男会長)」が主体となり、北秋田地域で生産さ

れる比内地鶏や山の芋などの食材を活用、市ならではの料理や弁当、お土産品などの商品開発、販売促進につなげて行こうとする食産業振興のための一事業です。

協議会では、すでに比内地鶏を使った親子丼を共通メニューとして開発することが決まっていますが、さらに各店自慢の名品を作り、来年開かれる秋田わか杉国体や平成20年開催の全国植樹祭で訪れる全国からの来訪者に弁当や店のメニューなどとして提供することもねらいの一つとしています。

会場では、はじめに同協議会の松田会長が、「初めての試みで皆さん苦勞されたことと思う。開発のためにはこれからが課題だが、共通の目的を持って市に食文化を根付かせたい。また、国体、全国植樹祭に結び付け、さらに全国に発信したい」とあいさつ。

事業者の皆さんの技術と発想で北秋田地域を『食の宝庫』に(北秋田地域振興局長)

またこの事業の企画・推進役でもある北秋田地域振興局の武藤富士雄局長が、「北秋田の食材は良いものがたくさんあるものの生かされていなかった。皆さんの技術と発想を原動力にこの地域を『食の宝庫』にして行きたい」と期待を寄せました。出品されたメニューは、飲食店、

文化の彩り豊かに

平成18年度北秋田市文化祭

11月3日は文化の日。北秋田市文化祭が3日から5日までの会期で開催されました。今年の文化祭は、演示部門の会場を市文化会館、展示部門を森吉総合スポーツセンターと一本化しての開催。いずれの会場でも、訪れた市民らが芸能発表や展示された作品の観覧で文化の秋を満喫しました。

授与式では、岸部市長から一人ひとりに賞状と記念品がわたされた後、受賞者を代表して戸嶋富雄さんが、「第1回目という節目に賞をいただき受賞者一同感無量。これからも精進を重ね、地域の文化の向上と発展に努めたい」と謝辞を述べられました。

演、会場から大きな拍手を受けていました。また、歌好きな市民が集う「童謡を歌う会」は、伴奏なしで「里の秋」や「七つの子」などの童謡を披露、同じ歌を会場の皆さんと一緒に歌い、ホールが懐かしさあふれる童謡の世界に包まれました。このほか、舞踊や音楽サークルなど24団体が出演、活動の成果を発表しました。

一方、森吉総合スポーツセンターでは、公民館講座やグループ活動などで制作した絵画や写真、パッチワーク、陶芸、切り絵などの作品、小中学生の絵画、書道作品などが展示され、家族連れなどがじっくりと見入っていました。

平成18年度北秋田市芸術文化功労賞と奨励賞の受賞者は次のとおりです。

- 功労賞 戸嶋富雄さん(83) 阿仁水無/金忠一さん(82) 本城字御嶽/新田チマさん(67) 新田目字大野/平田謙一さん(74) 伊勢町
- 奨励賞 成田トシ子さん(61) 今泉字大堤岱/土佐節子さん(55) 栄字中綱

開会式では市芸術文化功労賞・奨励賞の受賞者を表彰

合併当初の昨年、文化祭は産業祭同様旧町ごとに分散して開かれましたが、今年から全市で一本化され、演示部門と展示部門の2会場に統一し、開催されたものです。また4日は、第1回浜辺の歌音楽祭が開催されました。

北秋田市文化会館での開会式では、はじめに平成18年度北秋田市芸術文化功労賞・奨励賞の授与式が行われました。功労賞は、長年にわたり市の芸術文化の振興に貢献された方に、奨励賞は優れた芸術作品などを創作された方などに贈られるもので、功労賞は阿仁水無の戸嶋富雄さんなど4人が、奨励賞は今泉の成田トシ子さんら2名が受賞、いずれも新市となって初めての受賞者となりました。



▲開会式では、市芸術文化功労賞・奨励賞の授与式が行われ、6人の方に賞状と記念品が授与されました

演示部門は2日間の発表で40団体、約5百人が出演

開会式の後、文化会館では演示部門の発表が始まりました。2日間予定されている演示部門のトップを飾ったのは、総勢35人が出演した「鷹巣マンドリンクラブ」。「りんごの歌」や「北の宿から」など3曲を演奏、郷愁を誘うマンドリンの響きがホール一杯に響きわたりました。この後箏曲や日舞、ダンスやバレエ、民謡や大正琴、詩吟など16団体が日頃の練習の成果を披露しました。

また5日は「合川3B体操会」がオープニングを飾りました。15人ほどのメンバーが、音楽に合わせてボールとベルトを補助具に軽やかな体操を実



合川3B体操会



▶鷹巣・森吉・合川鳳扇会



健康太極拳森吉友好会



北欧の杜音楽団



童謡を歌う会



鷹巣フォークダンス協会



▲展示会場全景
(森吉総合スポーツセンター)



▲合川公民館刺し子講座

各団体の発表と、展示された作品の中から一部をご紹介します



▲小学校絵画作品
(大阿仁小ほか)



▶米内沢民謡研究会



生涯、音楽に情熱を燃やした

成田為三のプロフィール



● 昭和15年頃の為三

明治26年、森吉町米内沢（旧米内沢村）に生まれる。大正2年、秋田県師範学校卒業後、1年間小学校教師。同3年、東京音楽学校入学。在学中、在野の山田耕筈に作曲を師事。大正4、5年頃「浜辺の歌」を作曲。同6年同校卒業。大正8年『赤い鳥』に「かなりや」を発表、一躍有名になる。以後、『赤い鳥』の専属作曲家となる。

大正10年ドイツ留学、同14年帰国。同15年、鈴木文子と結婚。昭和3年、川村女学院講師。同8年、東洋音楽学校講師。同15年、国立音楽学校教授。同20年、脳溢血のため51歳で急逝。

■ 為三が作曲した主な歌曲

- | | |
|-----------|-------|
| 赤い鳥小鳥 | 北原白秋 |
| 秋田県民歌 | 倉田政嗣 |
| 管弦（いとたけの） | 明治天皇 |
| うらうらと | 加茂真淵 |
| かなりや | 西条八十 |
| かへらじと | 楠木正行 |
| 慶応義塾大学応援歌 | 粕谷真洋 |
| きたえる足 | 片桐顕智 |
| 古戦場の秋 | 葛原しげる |
| すみれ | 良寛 |
| 浜辺の歌（はまべ） | 林 古溪 |
| 望郷の歌 | 吉丸一昌 |
| ほろほろと | 行基 |
| 前田小学校歌 | 高橋政和 |
| 松島 | 松尾芭蕉 |
| 山の枇杷 | 北原白秋 |
| りすりす小栗鼠 | 北原白秋 |
- ※右は詞の作者



鷹巣南小学校



鷹巣中学校



鷹巣南中学校



コールもりよし



鷹巣混声合唱団



レディース・コーラス



M・M・C



る・それいよ



鷹巣西・北幼稚園



浜辺の歌キッズ



米内沢小学校



浦田小学校



合川北・東小学校



阿仁合小学校



浜辺の歌音楽館少年少女合唱団



鷹巣小学校



文化祭2日目の4日、「第1回浜辺の歌音楽祭」が市文化会館で開催され、幼稚園から一般までの各グループが「浜辺の歌」などの合唱曲を発表、ホール一杯にさわやかな歌声を響かせました。

第1回 浜辺の歌音楽祭を開催

成田為三を顕彰し、歌のあふれるまちをめざして

音楽祭は市教育委員会の主催。市教委や市の音楽関係者でつくる実行委員会（加賀隆寛実行委員長）によって企画され、準備が進められていたもので、「浜辺の歌」をはじめ、優れた童謡などを数多く作曲し、日本を代表する作曲家として知られる米内沢出身の成田為三（1893-1945）を顕彰するとともに、歌声のあふれる活気あるまちづくりにつなげることをねらいとしています。

第1回目となった音楽祭には、幼稚園から、小中学校、一般の合唱団など19団体、約500人が出演しました。開会式では、市教育委員会の三澤仁教育長が、旧森吉町が昭和63年に「浜辺の歌音楽館」を建設し、成田為三の顕彰を行ってきた経緯に触れながら、「新市誕生後は北秋田市が為三の出身地として知られる。合併を機に、市内の合唱グループが一堂に会する合唱祭を開催し、為三の偉業などを広く発信したい」とあいさつ。

また、岸部市長が、「合唱は音楽の原点。また、合唱のハーモニーは心のふれあいでもある。この音楽祭を機にさらに皆さんの活動が盛んになることを願っている」と祝辞を述べました。音楽祭は2部構成。午前中の第1部には幼稚園から小学校までの子どもたち9グループ、午後の第2部では、中学校3校と一般の合唱団が出演しました。各グループが発表した曲は、それぞれ2曲。うち1曲は、「浜辺の歌」をはじめ、童謡「赤い鳥小鳥」「かなりや」など、この音楽祭にちなみほとんどのグループが為三作曲の名曲を披露しました。会場に詰め掛けた聴衆の中には、懐かしみながら一緒に口ずさんでいる方も多く見られました。

1部・2部とも発表終了後には、大館市出身の作曲家・橋本祥路氏による講評が行われ、「合唱は、自分たちの気持ちを表す心のエネルギー。今日は全員が一体となって皆さんの気持ちがとてもよく表現されていた」と、各グループの発表を評価していました。

また講評のあと、鹿角市出身の声楽家（テノール）・安保克則氏による記念演奏が行われ、為三の童謡やイタリア民謡をしみじみと、また、朗々と歌い上げ、大きな拍手を浴びていました。



▲優れた指導力と豪放磊落な人柄で多くの選手から慕われている小出義雄監督。本市での講演会でも、陸上競技の指導者としての半生と信念について熱弁を振るわれました

「本気でやれば夢は必ず叶う」世界が相手の指導哲学

女子マラソンの小出義雄監督講演会から

鷹巣農林高校創立97周年・第55回全国高等学校スキー競技大会男子総合優勝記念事業

有森裕子、高橋尚子選手など世界の舞台で活躍する陸上競技選手を数多く育てている小出義雄監督の講演会（主催／鷹巣農林高校生徒会）が10月23日、市文化会館で開かれ、同高の生徒

また、実業団チーム監督としての転身後は、オリンピックのマラソン競技メダリストの有森裕子、高橋尚子両選手など多くの世界レベルの選手を育て、その指導力は国内外で注目されています。講演会でははじめにこの講演会を企画した同高生徒会の安部聖会長（3年）が、「今私たち3年生は進路を決定する時期。多くのアスリートを育てられ、『本気でやれば夢は必ず叶う』との信念を持たれる監督の講演を心待ちにしていた」と歓迎のあいさつ。

強い信念を持ち、努力を続ければ障害を克服、夢に近づける

小出氏ははじめに、「母校の千葉県立山武農業高校には早朝に家を出、列車で一つ前の駅で降りて走って通った。それ以来50年くらい陸上と付き合うことになるが、当時の家は農家で進学もままならず、陸上漬けの毎日で勉強もあまりしていなかった。しかし、『教師になりたい』との強い思いが大学進学と教員採用試験合格をかなえさせてくれた」と高校時代から教師になった頃までを紹介。高校陸上部の監督時代は、「佐倉高校の陸上部で

「監督の講演を心待ちにしました」
講演会を企画した安部聖生徒会長

講演会は鷹巣農林高校創立97周年と、今年2月鹿角市で開催された第55回全国高等学校スキー競技大会での男子総合優勝を記念し開かれたもので、同校の生徒、教職員、同窓会、PTAのほか一般の方を含め約500人が聴講しました。

現在、実業団の選手らが所属する「佐倉アスリート倶楽部」の代表取締役兼監督を務める小出義雄氏は昭和14年生まれ、67歳。千葉県佐倉市の出身で順天堂大学を卒業、千葉県内の高校の陸上部の指導者として全国レベルの選手を数多く育て、市立船橋高校では全国高校駅伝で男女のチームをそれぞれ優勝させています。

は、進学校ということもあり陸上部員も少なかったが、駅伝大会では、野球部やサッカー部などのクラブから足の速い選手を借り3ヶ月ほどの猛練習で千葉県で優勝することができた」また、「市立船橋高校では、市長や教育長から『船橋を陸上で日本一にしてくれ』といわれて強化を始め、翌年には男子5km、女子3kmで優勝者を出し、インターハイでも総合優勝を果たした。船橋市というところは都会の町で練習する場所も少く、駅伝の練習も交通量が多く危険な車道の端だった。でも、練習環境が悪いから走れないというの弱音、勝とうと思えばどんな場所でも練習できる」などの話に、生徒たちもうなずきながら真剣に聴き入っていました。

オリンピック出場の夢を持ち続け、メダル獲得を実現させた有森、高橋両選手

小出監督は高校陸上部の監督を経て、オリンピック選手を育てたいとの思いから実業団チームの監督に転身します。リクルート時代、監督が育てた選手の一人・有森裕子選手については、「彼女がリクルートに来たとき『オリンピックに連れて行ってほしい』と言われた。当時は無名だったが、『いくら苦しくともみんなの倍は練習できる』と話す彼女のオリンピック出場への願望と、我慢強さはすごいと思った」と紹介。また、「バルセロナオリンピックを前にして不安と緊張に苦しむ有森にたばこの好きな自分が『レースが終わるまでたばこを断つ』と約束、彼女にわたした。実は彼女はそのうちの一箱を、パンツの中に縫い付けて走り、ゴールの後、汗の染

み込んだそのたばこを私にプレゼントしてくれた。今、額に飾ってあるそのタバコは私の宝物の一つ」との秘話に、聴衆も感銘を受けていた様子でした。

高橋尚子選手についても、「Qちゃん（高橋選手の愛称）も大学を卒業するまでは平凡な記録しか持っていなかった。内定していたすべての企業をことわり『監督の会社（当時のリクルート）に入れなくとも指導だけはしてください。自分を強くしてください』と行って私のところへ来た。それほど速くならないという願望を持っていた。その願望を胸に、過酷なトレーニングを続け、5年後のシドニーオリンピックで金メダルを獲得、翌年のベルリンマラソンでは女子では世界ではじめて2時間20分を切る、という歴史に残る記録を打ち立てた」と、目的を達成しようとする強い思いが夢を実現させる大きな要因になると語りかけました。

また、「あるときQちゃんが子どもからサインをせがまれたとき、急いでいたのかいやな顔で断ったときがあった。私は、『子どもには手を合わせてごめんね、と言いながら謝らない』と叱った。稲穂でも実るほど頭を垂れる。Qちゃんは泣いていたけど、すぐそのことをわかってくれた」とのエピソード

親になったとき子どもにも自慢できるくらい熱心に取り組むことが大切

講演の最後には、「記録はいつか破られる。もつと大事なことは情熱を持って一生懸命やること。現役生活よりその後の人生のほうが長い。皆さんが親になったとき、子どもにも自慢できるくらい何事にも熱心に取り組むことが大切」と訴えていました。講演の後「監督にとってマラソンとはなんですか」との生徒からの質問に監督は、「マラソンとは私の人生そのもの。私はお酒が好きで、教諭時代、付き合い酒が続いて辛いこともあったがそれを理由に休んだことは一度もなかった。それは『日本一になりたい』という夢があったから。今でも、もし東京都（自分の指導する）日本人選手に金メダルを取らせたいと思っている」と答え、実績や現状に満足せず、夢を持ち続けることの大切さを説いていました。



■小出義雄氏

千葉県佐倉市出身、67歳。1965年から千葉県内の高等学校の陸上部監督を歴任、全国レベルの選手育成に努力を重ね、特に、市立船橋高校監督時代にはインターハイ、国体などで優勝、入賞した多くの選手を育てた。また、全国高校駅伝大会でも男女のチームでそれぞれ全国制覇を成し遂げた。その後、リクルート・ランニングクラブの監督として有森裕子選手のオリンピック2大会連続のメダル獲得。さらに積水化学工業では鈴木博美選手の世界選手権メダル獲得、高橋尚子選手メダル獲得、高橋尚子メダル、シドニーオリンピックでの金メダル獲得に貢献するなど、日本の陸上競技界のけん引役を果たした。平成13年には「佐倉アスリート倶楽部」を立ち上げ、千葉真子選手ら幾多の名選手を育成し、現在もなお活躍を続けている。

11月市長定例記者会見 市長交際費10万円を返還



定例記者会見を行う岸部市長

11月の市長定例記者会見が11月7日、北秋田市中央公民館研修室で行われました。

市長交際費7件10万円を返還

はじめに、国会議員らの懇話会や後援会総会などに会費として市長交際費から支出していた件に触れ、岸部市長は先月「市政を代表し参加してきたつもり、個人として参加という意識は持っていない。調整がつけばどの政党にも参加する意思はあり、特定の政党を支持していいない。しかし、判例で違法とされていることや市民感情を考慮し、近く返還したい」と述べていました。

特定の政党や政治家への公金支出については、行政の政治的中立性の要請に反するものとして、平成14年に大阪高裁が違法とする判決を出しており、この日の会見で「最近の情勢を考慮し返還する。返還に際し、寄付行為とならないよう現年度及び過年度分について返還通知により返還する」と改めて述べ、今後同様の

ものではありません
※生活支援事業のため、空き家や不在者の家等は対象になりません
申請先・お問合せ先
高齢者支援課 ☎62-11112
各支所市民福祉課
川川支所 ☎78-21116
森吉支所 ☎72-31115
阿仁支所 ☎82-21112
市社会福祉協議会 ☎63-2109
★所定の申請用紙があります。
★地区の民生児童委員の方々にも手続き案内をお願いしています。

旧町時作成のテレホンカードを通話料に

旧町時代にPR等のため作成したテレホンカードについて在庫調査したところ、旧鷹巣町分2322枚（50度・額面161万1千円）を確認。他の3町は全て使用し在庫はなく、近くNTT通話料として利用する方針を明らかにしました。

市長は「現在保有しているのは平成6年度以降に作成した物。加速度的な携帯電話の普及によりテレホンカードの需要が減り、公衆電話が減少するといった社会情勢の変化もあり、計画通り使用することができなかつた。北秋田市となつてからも益踊り大会等への協賛として配布の機会をみていたが、旧町名が記され使用しなくなり、テレホンカードとして使用しない以上、これを有効活用するため、売却等と比較しても手数料の安いNTT通話料（手数料11%相当）として利用したい」と述べました。

この他、下水道事業の財源確保について、国土交通省、財務省、秋田県選出国会議員に要望書を提出することや、現在北秋田市民病院（仮称）の一次造成工事に伴う伐根、枝葉チップの市民への無料配布について説明しました。

※伐根・枝葉チップの詳しい内容は、最終ページに掲載しています。

市では、雪で困っているお年よりや障害者のために、社会福祉協議会と一緒に「福祉の雪事業」を行います。

利用できる方は、次の方のうち自力又は近隣の協力を得ながらも、どうしても支援が必要な方です。

① 65歳以上のひとり暮らしで雪よせが困難な方
② 65歳以上の高齢者のみで雪よせが困難な世帯
③ 65歳以上の高齢者と障害者若しくは児童のみ等で雪よせが困難な世帯
※作業日時の要望には応ずることができない場合があります。

**扶助限度額は4万円です
計画的に活用ください**

雪よせ、雪下ろし、排雪等の作業料金の8割までで、4万円を限度に支援します。

通算作業料金が5万円を超えた部分は、全額自己負担になりますので、自力でできる範囲を検討・相談の上で、計画的に制度を活用ください。

※この事業は、作業費用の支援を行なうもので、市が建物管理を行なう

事業受託者を募集しています

この雪事業の作業を受託できる指定を希望される事業者は、市福祉事務所又は支所に申し出てください。申請用紙があります。

登録受付
11月30日まで
登録期間
18年11月～19年3月31日

どうしても
雪で
困難な方を支援します



= 「福祉の雪事業」 利用手続き =

- 昨年度と変更した部分があります。お確かめください**
- ①あらかじめ申請し登録されていることが必要です。対象になる方には市から決定通知をします（申請書で振込み先等の指定をお願いします）
 - ②主として出入り口の雪よせを依頼される方には、積雪時に、シルバー人材センター等から作業に伺います。
 - ③雪下ろし、排雪等の作業を依頼される方は、必要の都度（早めに）、地区の社会福祉協議会に連絡が必要です。連絡により作業をする方（登録業者）を紹介します。
作業量により料金が異なりますので、双方で作業等の確認をお願いします。（作業の目安となる基本料金表が、市と社会福祉協議会にあります）
 - ④作業終了後に、利用者が業者に料金を支払いし、領収書等をもらってください。作業業者は、領収書控を添えて地区の社会福祉協議会に作業の終了を報告ください。
手続きは以上です。社会福祉協議会が扶助費の請求手続きを行います。市役所（支所）で、対象になる扶助額を指定振込み先に振り込みます。作業費用の総額で計算しますので、数回利用される方は手続きに時間がかかる場合が予想されますのでご承知おきください。



市長日誌

10/16
～
10/31

- 16日（月）北秋田市民病院（仮称）用務で秋田市へ
- 17日（火）県道二ツ井森吉線同盟会総会に出席
森吉山ダム期成同盟会総会に出席
- 18日（水）第149回東北市長会総会に出席
- 20日（金）第2回北秋田市社会福祉大会に出席
知事と秋田県市長会との行政懇談会に出席
- 21日（土）文化会館自主公演事業「テナーサックス&フルートコンサート」を鑑賞
- 22日（日）第2回北秋田市長杯兼北秋田市民ゲートボール大会、第2回北秋田市ゲートボール選手権大会開会式に出席
- 23日（月）市立阿仁合保育園竣工式に出席
- 24日（火）大館能代空港ターミナルビル棟第50回取締役会に出席
- 25日（水）北秋田市新うめもん品評会に出席
- 25日（水）北秋田市民病院（仮称）第5回建設委員会に出席
- 28日（土）一般国道7号鷹巣大館道路起工式及び意見交換会に出席
- 29日（日）第19回東京鷹巣会に出席
- 30日（月）森吉山ダム洪水吐打設完了式に出席
- 31日（火）総合防災訓練（米代川危機管理演習）に参加

元気いっぱいの学園祭

鷹巣地区高齢者講座～高鷹大学

鷹巣地区の高齢者講座、高鷹大学の学園祭が、11月3日～5日の3日間、市交流センターを主会場に開催されました。展示ホールには、クラブ活動で学んでいる力作が展示され、多くの市民がじっくりと見入っていました。

また、4日の発表では、多彩な出し物が演じられました。ユニカールクラブは、写真やマグネットを使って、競技方法や大会の様子をわかりやすく説明していました。最後には、恒例になった参加者全員での「北国の春」を合唱し、観客からは大きな拍手がわき起こり、満面の笑顔で終了しました。



▲日頃の活動の成果を表現豊かに披露した第10回高鷹大学学園祭「発表の部」

家庭の味自慢大会

「漬け物コンクール」

「出品者」と、小中学生の「審査員」大募集！

北秋田地域では、昔から工夫を凝らした野菜や山菜の漬け物が作られ、代々受け継がれてきました。北秋田地区生涯学習奨励員協議会では各家庭の自慢の漬物を紹介する「漬物コンクール」を開催し、内外にPRする機会とします。多数の皆さんのご参加をお待ちしております。なお、開催にあたり、小中学生の審査員を募集します。応募される方は、下記によりお申込ください。

開催日	11月25日(土)
時間	10:00～11:30
会場	森吉公民館(森吉コミュニティセンター)
内容	各家庭でつくられている自慢の漬物を紹介し、人気の高い一品を表彰します。審査には、北秋田地区の小学校・中学校の児童生徒を含めた審査員があたります。
応募方法	<p>■出品される方(参加対象と申込方法)</p> <p>対象は、北秋田市・上小阿仁村に在住の方(一人何点でも出品できます)</p> <p>各公民館に応募要項(出品票)を置いていただきますので、用紙に必要事項を記入の上、下記まで提出してください。</p> <p>■審査員(小中学生)を希望される方</p> <p>対象は、北秋田市・上小阿仁村の小・中学生です。電話かFAXで、名前と住所、学校・学年をお知らせください。なお、人数は、北秋田</p>

入賞応募先	市11人、上小阿仁村5人を予定。※出品者及び審査員になっていただいた方には、記念品等を贈呈。 最優秀賞1点/優秀賞2点/アイデア賞1点 北秋田市教育委員会生涯学習課 ※電話かFAXで TEL62-6618 FAX63-2678
締め切り審査員	出品者、審査員ともに11月17日(金)まで上記審査員以外に婦人会2名、老人クラブ2名、行政機関2名 計22名



わが家自慢の「漬け物」をお待ちしています。また、審査をしてくれる小中学生も大募集！

■■■ INFOMATION (鷹巣体育館からのインフォメーション) ■■■

北秋田市鷹巣体育館では、下記の期間、館内改装工事のため、メインアリーナが使用できなくなります。大変ご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。なお、サブアリーナは通常通りにご使用いただけます。また、スポーツ振興課及び国体準備室は、通常通りに事務をおこなっておりますので、何かありましたら問い合わせください。◇スポーツ振興課 ☎62-3800 ◇国体準備室 ☎60-1601
■工事期間：平成18年12月1日(金)～12月28日(木) ■全館開放：平成19年1月4日(木)～



MANABI NO HIROBA

学びの広場

- 公民館活動 ●生涯学習
- 文化振興 ●学校 ●スポーツ

地域で学び、活動する
皆さんを応援します

北秋田市
教育委員会

使用できるのは2週間程
ねかせてからですが、廃
油利用になり環境にもや
さしいし、汚れ落ちも抜
群！そして、グリセリン
の効果で手荒れしにくい
ので皆さんにとっても好評
でした。

みんなでワイワイするうちに出来上
がりました。

阿仁公民館荒瀬分館で9月29日、荒瀬婦人学級の「プリン石鹸づくり講習会」が行われました。プリン石鹸は天ぷら油などの廃油を再利用し、台所用石鹸にしたものです。出来上がりがプリン状になることから、この名称になったそうです。温めた廃油に冷ご飯や苛性ソーダを入れて作ります。熱湯を使うこと、ガスが出るので注意が必要ですが、みんなでワイワイするうちに出来上がりました。

環境にも手にも優しいプリン石鹸

阿仁公民館荒瀬分館婦人学級



▲廃油を利用した環境にやさしい手づくり石けんづくりに挑戦した荒瀬婦人会のみなさん

内館塾と般若院英泉を学ぶ

綴子公民館定期講座(肉入籠塾)



地域の歴史に学びさらに地域づくりを考えようと、開講した肉入籠塾。10月25日は秋田県の文化財に指定されている綴子内館文庫にちなみ、1、700年代初頭の秋田県で最も古いとされている内館塾と、当時の指導者の中心であった般若院英泉にスポットをあてました。

講師は坊沢公民館・永井高道館長にお願いし、内館塾の歴史と背景、般若院英泉の人となりや業績について学びました。

受講生は、「古い時代から地域の教育に情熱を傾けた偉人に深い感銘を受けた」と感想を述べていました。

桃洞エリアの魅力を見直し

中央公民館定期講座(気楽にスポーツ)



▲自然観察で地域の魅力を再発見

中央公民館講座「気楽にスポーツ」では10月5日、紅葉できれいに色づいた桃洞の滝へのウォーキングを行いました。

今回は、NPO法人・冒険の鍵「クーン」(代表村田君子さん)の案内のもと、ウォーキングをするだけでなく、そこに生息している野鳥や樹木(保存林)、植物などについて説明をいただきながら滝を目指して歩きました。

ウォーキング(体の運動)で爽やかな汗をかくと同時に、桃洞エリアの自然について学習(頭の運動)することができ、受講生は有意義な時間を過ごしました。今まで来たことがあった方でも今回の案内により桃洞の魅力「再発見」できたのではないのでしょうか。

市民の手でより親しめる公園に

「桜の木」記念植樹く米代川河川公園

北秋田市米代川河川公園で11月3日、「桜の木」の記念植樹が行われ、市民が親子などで憩いの場づくりに汗を流しました。

米代川右岸にある同公園は、毎年夏に行われる花火大会や、野球やソフトボール、散歩などで利用され、多くの市民に親しまれ、また現在、川の風景を楽しみながら散策ができる花壇やせせらぎ水路など親水性をもった公園にするための整備が進められています。

当日植樹された桜（ソメイヨシノ）の苗木は32本。うち25本を公募で決まった市民が植え、参加者は、子どもの誕生や入学記念、スポーツチームの優勝など様々な記念のことは添え木に取り付けたプレートに記し植樹しました。



記念のことはをプレートに記し植樹する親子

思いやりの心はぐくみ

「子ども人権デーの集いin鷹巣西小」

「子ども人権デーの集いin鷹巣西小」が10月31日、同小で行われ、人権尊重の輪を広げました。

この日は、鷹巣西小が行った「人権の花」運動への感謝状の伝達と、鷹巣阿仁地区の小学校児童を対象に募集し、優秀作品に選ばれた人権標語の入賞者の表彰と発表を行いました。

感謝状伝達式で、西小児童の畠山光大君（6年）が秋田地方事務局大館支局の石井隆支局長から感謝状を受け取った後、同じく代表の成田浩崇君（6年）が、「『人権』という言葉の意味は難しかったが、とても大切なことだと知った。花を見ると心が豊かになる。その心で人に接したい」と運動に取り組んだ感想を述べていました。



感謝状などが伝達された子ども人権デー

ふるさとに思いを馳せて

第19回東京鷹巣会総会・第20回東京ふるさと森吉会総会

首都圏に在住する鷹巣町出身者の会「東京鷹巣会」の第19回総会・懇親会が10月29日、東京都内のホテルで開かれ、関係者およそ180人が郷里の話題などで旧交を温めました。

菊地靖孝会長や岸部市長らによる鏡開きと乾杯で始まった懇親会の各テーブルでは、近況や郷里の話題で話がはずみ、また、今年はジャズプレイヤーとして活躍されている綴子出身の菊地康正さんも駆けつけ、サックスでのジャズ演奏で花を添えました。

テーブルでの会話がはずんだ終盤には、福引抽選会や出席者が輪になった「鷹巣盆踊り」でさらに盛り上がり、「ふるさと」を全員で合唱、



ふるさと談義に花を咲かせた「第19回東京鷹巣会」

懇親会を締めくくりました。

また、第20回東京ふるさと森吉会総会・交流会が、東京のアルカディア市ヶ谷を会場に開催され、首都圏に住む会員約150名が参加し、なつかしいふるさとの話題やお互いの近況報告をし合うなど、親睦を深めました。

交流会では今西祐子氏による歌「秋田内陸線ひとり旅（詞・板垣吉郎 曲・今西昭雄）を披露。最後には参加者全員で「ふるさと」を大合唱し昔をなつかしみました。また会場では「いぶりがっこ」「岩魚骨酒」「きりたんぼセット」などの特産品販売なども行われ、売れ行きも上々。来年また会える日を楽しみに散会しました。



ふるさとを大合唱し昔を懐かしんだ「第20回東京ふるさと森吉会」



書状と楯を前に市長と語る受章者 (写真左の男性が武石さん・右が松栄自治会)

武石さん・松栄自治会が受章

エイジレス・ライフ実践者及び社会活動参加活動事例

このほど「平成18年度エイジレス・ライフ実践者及び社会活動参加活動事例」の紹介事業において、エイジレス・ライフ実践者（エイジレス章）を武石音吉さん（85歳・根小屋）、社会参加活動事例（社会参加章）を松栄自治会（代表九嶋喜實さん）がそれぞれ受章し、10月24日、岸部市長から内閣府特命担当大臣書状と楯が伝達されました。

エイジレス章を受章した武石さんは、成功例のないカジカの養殖孵化に着手し、3年後に成功、社会参加章を受章した松栄自治会は、昭和27年から桜の植林を始め、現在約1キロにわたる桜並木をつくり、管理・維持していることが認められそれぞれ受章となりました。

力強い踊りと元気な掛声に拍手喝采

合高祭前夜祭「路上ダンス」

合川高校の第45回合高祭の前夜祭が10月28日、合川駅前で行われ、今年で5回目となった路上創作ダンスが披露されました。

「こんにちは！お元気ですか？」合高生街に出ると題された創作ダンスは、たざわこ芸術村・わらび座の指導のもと、前夜祭に向けて放課後練習を重ね、路上で元気いっばいの掛声とともに踊り、合川高校オリジナルのニューソーラン節、ニュー秋田音頭には、地域住民の拍手喝采を浴びていました。

翌日は「超新星」SUPER NOVA」と題された合高祭が開催され、演劇やバンド演奏、介護福祉科研究発表などが一般公開されました。



沿道の地域住民から拍手喝采を浴びた合高生の路上ダンス

農業所得簡易計算（農業所得標準）で 申告をされている皆様へ

平成19年分から（申告は平成20年2月～3月）、
農業所得簡易計算（農業所得標準）が廃止されます！

※農業所得簡易計算の廃止に伴い、農産物の家事消費等の目安となる金額についても、平成19年分から廃止されます。

今後は、すべて

収支計算

による申告が必要となります



収入や経費の金額が分かる書類をきちんと保存し、記録することが必要です。

◎収支計算とは

農業所得の計算は、他の事業所得と同様に、収入金額から必要経費を差し引いて所得金額を算定する収支計算が原則です。



◎収支計算を行うには

収入金額の分かる書類と必要経費の分かる書類から日々記録し、それを科目（収入、肥料費、農業費など）ごとに1年間の集計を行い、これらに関する書類を保存する必要があります。

◎保存する書類（平成19年1月分から保存します）

- <収入金額の分かる書類>……出荷伝票、納品書（控）、仕切り書など
- <必要経費の分かる書類>……請求書、納品書、領収書など

このほかに、販売代金の入金や肥料代金などが引き落とされる口座の通帳や、農産物の出荷や購買代金の明細書なども必要です。



「収支計算説明会」が開催されます。ご参加ください

※はじめて収支計算をする方でなくても参加できます。

日時 12月21日（木）午後1時30分

会場 北秋田市中心公民館 3階

主催 大館税務署・鷹巣町農業協同組合・あきた北央農業協同組合・北秋田市

講師 東北税理士会大館支部

昔の農機具で先人の知恵を体験

まるとび学園収穫祭

長期山村留学「まるとび学園」の収穫祭が10月28日、学童研修センターで行われ、同学園で育てた米や野菜の収穫を喜び合い、自然の恵みに感謝しました。

収穫祭では、学園生7人をはじめ、地元の小中学生や、受け入れ農家、地域の方、学園生の父母らと一緒に「千歯こぎ」や「足ふみ脱穀機」「唐箕」など昔の農機具を使った農作業に挑戦しました。

お昼は収穫した新米を使ったカレーライスを食べ、午後から、山村留学体験発表が行われ、学園での活動発表や受け入れ農家での体験など自分の興味関心があったものを個人研究として発表しました。



昔の農機具で農作業に挑戦するまるとび学園の児童たち

有事に備え体験型防災訓練

第6回安全安心アカデミー

第6回の安全安心アカデミーが森吉支所を会場に行われ、災害時に迅速かつ円滑な災害応急対策活動ができるよう訓練を受けました。訓練にはアカデミー受講者の一般市民など約70人が参加し行われ、体験型防災訓練では、森吉支所内の消防用施設等設置状況を視察し、それぞれの使い方などの説明を受けました。通報訓練では実際に119番通報を受けました。通報訓練では緊張しながらあつて、思うように伝えることが出来ない場面も見受けられたほか、避難訓練では実際に煙の中を歩き前が見えずぶつかる人や転ぶ人なども。初期消火訓練、救急救助訓練を行った後、合同消火訓練で森吉支所から火災が発生したと想定し、通報から消火までの一連の流れを実践しました。



通報訓練で119番通報をする参加者

霊峰森吉山を後世に残したい

森吉山清掃登山

北秋田市自然美化運動自主事業の一環として10月30日、「森吉山清掃登山」が山岳会等各種団体から約30名が参加し行われました。この日はゴンドラ山頂駅舎から山頂・森吉山避難小屋間を重点的に清掃と山道の整備・森吉山避難小屋のトイレの汚水の汲み下ろし作業等が行われ、参加者は決壊した山道を修復したり、避難小屋から山頂駅舎まで往復約35分程の区間を20キロ入りのポリタンクに汲み取りした物を背負い汗だくになりながら運搬作業を行いました。

参加した人たちには、この自然の素晴らしい霊峰森吉山を後世に残したいという強い思いが作業する中にも現れていました。



20キロ入りポリタンク25個分が運搬されました

Information

お知らせ

お知らせ

第31回「地域の医療を考える集い」

日時 11月25日(土) 14:00~16:00
 場所 大館市立中央公民館 ※入場無料
 内容 特別講演
 「この冬、インフルエンザは「最近の問題」
 講師 富山大学大学院医学薬学研究所ウイルス学教授
 白木 公康先生

高齢者健康づくり・交流促進セミナー

日時 11月24日(金) 13:30~16:30
 場所 秋田県庁正庁 ※参加は無料
 内容 基調講演、事例紹介と意見交換
 申し込み 11月20日(月)まで電話かFAX
 ◎申し込み・お問い合わせ 秋田県健康づくり推進チーム
 ☎018-860-1326 Fax018-860-3852

シルバー人材センター「勤労感謝の集い」

日時 11月26日(日) 10:00~12:00
 場所 北秋田市交流センター
 内容 シルバー会員の作品展示、成田光弘氏講演
 その他 会場へはバス送迎もあります。お問い合わせください。
 ◎お問い合わせ
 シルバー人材センター ☎62-5151

年末調整関係説明会(白色申告)

日時 11月20日(月) 1回目10時~2回目14時~
 場所 大館市民文化会館
 持参 年末調整関係書類
 ※個人の青色申告の決算説明会は別途開催します
 ◎お問い合わせ
 大館税務署 ☎0186-42-1882

社会保険料(国民年金保険料)控除証明書を送付します

国民年金保険料は、全額が社会保険料控除(非課税)の対象です。

年末調整や確定申告で、納付した国民年金保険料額を申告する際には「社会保険料(国民年金保険料)控除証明書」の添付等が必要となります。

控除証明書は、11月上旬に社会保険庁から送付されますので、申告の際まで大切に保管してください。

◎お問い合わせ

・社会保険庁「控除証明書専用ダイヤル」☎0570-00-9911
 (平成18年11月1日~平成19年3月16日、平日9:00~17:00)
 ・鷹巣社会保険事務所 ☎62-1497

~納めて安心 国民年金~

健康

◎お問い合わせ

北秋田市保健センター ☎62-6666
 合川保健センター ☎78-4272
 森吉保健センター ☎72-3455
 阿仁保健センター ☎82-2116

マタニティ講座(後期)

日時 12月7日(木) 13:30~15:30
 場所 北秋田市保健センター
 対象 1月~3月出産予定の方及びその家族
 内容 先輩パパ・ママ・ベビーとの交流
 母乳育児のすすめ・家族計画について
 持参 母子健康手帳
 ※講座は1週間前までに申し込みください。

◎お問い合わせ

北秋田市保健センター ☎62-6666

子育てサークル「にじいろリボン」(合同)

日時 12月1日(金) 9:30~12:00
 場所 北秋田市保健センター
 内容 親子で楽しめる遊び(3B体操)
 講師 高橋香代子氏(大館市在住)
 ペンシルバルーンなど

◎お問い合わせ 各地区保健センター

心の健康づくり講座

日時 12月18日(月) 午後1時~2時30分
 場所 森吉コミュニティセンター
 講師 NPO法人「蜘蛛の糸」
 事務局長 佐藤 久雄 氏
 ※内容等詳細につきましては次回号でお知らせします。
 ◎お問い合わせ 各地区保健センター

【控除証明書Q&A】

Q1 「社会保険料(国民年金保険料)控除証明書」に記載されている月分以外の保険料を12月31日までの間に納付した場合は、今年分として申告できますか?

A1 今年分として申告できます。控除証明書に記載されている保険料額に、後から納付した保険料額を合算のうえ申告してください。なお、後から納付した保険料分の「領収証書」も添付する必要があります。

Q2 家族の保険料を納付しましたが、控除の対象となりますか?

A2 世帯主または配偶者として、ご家族の国民年金保険料を納付した場合は、納付した方がその保険料を申告することができます。

Information

お知らせ

公民館

11・23(木) 中学校選抜新人バレーボール大会
 森吉総合スポーツセンター
 26(日) 県北高体連剣道部会 合川体育館
 30(木) 小・中学校書写毛筆審査会 鷹巣体育館

お知らせ

公開講座「手打ちそば作り講座」

日時 昼の部 12月5日(火) 10:00~12:30
 夜の部 12月6日(水) 18:00~20:30
 場所 北秋田市中央公民館 材料代 1500円
 講師 大館市中山そばの会
 参加対象 どなたでも参加できます。定員各20人
 持参 エプロン、三角巾、筆記用具等
 申し込み 11月16日(木)~24日(金)午後5時まで
 ※但し、申し込み多数の場合は抽選となります。
 ◎申し込み・お問い合わせ

北秋田市中央公民館 電話62-1130 FAX62-1669
 (受付時間:期間中、最終日以外は毎日8:30~20:00)

森吉 Jr ソフトテニスクラブ 冬期教室生徒募集

練習日 毎週日曜日 15:30~17:30
 (平成19年3月25日まで)
 場所 森吉総合スポーツセンター
 対象 北秋田郡市在住の小学生(1・2年生は親と同伴)
 会費 2000円(内訳:保険料500円、参加料1500円)
 申し込み 申込書に記入し、会費とともに直接申し込み。
 11月26日から随時募集します

その他 運動着、内ズックは各自で準備してください
 ラケットのない人は貸し出しします

◎お問い合わせ 森吉 Jr ソフトテニスクラブ事務局
 (日中) 松岡(森吉支所産業建設課内) ☎72-3113
 (夜間) 近藤(自宅) ☎72-3698

ひとりで悩まずご相談ください

「女性の人権ホットライン」強化週間

期間 11月13日(月)~19日(日)まで
 時間 8:30~19:30まで
 但し、18・19日は10:00~17:00まで
 場所 秋田法務局 女性の人権ナビダイヤル
 ☎0570-070-810(電話は3回線あります)
 内容 夫や恋人からの暴力(DV)、男女関係のトラブル、家族の不和や離婚問題、生活上のこと、人に言えない悩みなど

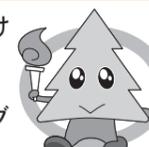
平成20年春季開催
第59回 全国植樹祭
 テーマ「手をつなごう 森と水とわたしたち」
 会場 北秋田市「北欧の杜公園」



スポーツ

11・17(金) 森吉地区夫婦バレーボール大会
 森吉総合スポーツセンター
 18(土) 森吉地区スポーツ少年団交流会
 森吉総合スポーツセンター
 19(日) はつらつまママさんバレーボール 鷹巣体育館
 少年ドッジボール大会 合川体育館
 23(木) 剣道昇段審査会 合川体育館

平成19年開催 君のハートよ位置につけ
秋田わか杉国体
 北秋田市は、バレーボール、フェンシング
 山岳、アーチェリーの会場です



人のうごき 10月16日～31日届出分



お誕生おめでとう
ございます

- 三沢悠斗(政樹)長男 前野
- 津谷銀二(淳)二男 坊沢深閑
- 津谷和奏(尚志)長女 下家下
- 長崎雫(勝利)長男 新田中
- 一関ちゆら(孝雄)長女 舟場
- 高橋康平(康弘)長男 柳中
- 佐藤結愛(毅)三女 川井
- 吉田美優(剛)長女 上杉団地
- 佐藤尊正(健)長男 阿仁幸屋渡

- 小林豊(ゆたか)大館市 出川クサ(85歳)糠沢
- 北林真理子(まりこ)合川 浪岡吉郎(75歳)掛泥
- 小笠原力(ちから)松ヶ丘 成田年男(64歳)あけほの町
- 高橋静香(しずか)美郷町 佐藤タマ(97歳)川井
- 藤嶋トミ(83歳)太田 庄司キノ(104歳)通り町
- 佐藤裕(ゆたか)新舟見町 白澤武治(90歳)桂瀬
- 田村トメ(94歳)岩坂 伊東賢一(71歳)阿仁笑内
- 津谷清助(せいすけ)坊沢深閑 加藤竜治郎(87歳)阿仁銀山
- 丸井サチ子(78歳)舟見町 平川ミツ子(85歳)阿仁幸屋渡

おくやみ申し上げます

国道105号「米内沢バイパス」
が開通します

平成3年から行われていた北秋田市寄延～松栄のバイパス工事が完成し通行できます。

日時 12月4日(月)
10時 開通式典 13時 一般開放



お二人の前途を
祝福します

- 成田卓也(たくや)坊沢緑ヶ丘
- 佐々木静(しずか)あけほの町
- 安部美博(よしひろ)大館市
- 中嶋美保子(みほこ)北中家下

税の納期限

国民健康保険税 第5期
個人事業税 第2期
11月30日まで

人口と世帯数

10月31日現在
住民基本台帳による

総人口	40,087人 (24人減)
男	18,972人 (13人減)
女	21,115人 (11人減)
出生	15人 転入 58人
死亡	37人 転出 60人
世帯数	14,870世帯 (3世帯増)

夜間当番医(夜間)日程表

(午後6:30～9:00)

○応急の診察を要する人。
○往診はしていません。
○仕事や職場の都合で夜間診療を受ける場合は、診療に

※年齢・病気の病状にかかわらず当番医に電話等でご相談ください。

日	曜	医療機関名	電話番号
16	木	津谷内科	62-2261
17	金	遠藤クリニック	63-0515
18	土	たむら内科クリニック	63-2700
19	日	佐藤外科消化器科医院	62-1420
20	月	うえだクリニック	60-1055
21	火	佐々木産婦人科医院	63-0105
22	水	藤原医院	62-2882
23	木	疋田外科内科医院	78-3338
24	金	奈良医院	62-1146
25	土	北秋中央病院	62-1455
26	日	公立米内沢総合病院	72-4501
27	月	阿仁病院	82-2351
28	火	としま医院	62-1267
29	水	盛岡外科医院	62-1101
30	木	国民健康保険合川診療所	78-3161

Information

お知らせ

募集

冬「まどびの里子ども自然村」参加者

まどびの里子ども自然村は、子どもたちの冬休み期間に4泊5日間の日程で実施される自然体験活動です。雪国秋田ならではの活動や農家宿泊など楽しい体験が盛りだくさんです。

日程 12月26日(火)～30日(土)
対象 小学1年生～中学1年まで 30人
申し込み 指定の申込用紙に必要事項を記入のこと
※用紙は各支所に設置のほか市ホームページ「まどび学園コーナー」から様式をダウンロードできます。
申込期限 11月27日(月)まで

◎申し込み・お問い合わせ
まどびの里子ども自然村 ☎78-4193

北秋田市で「知事の市町村懇談会」開催!

県では、「地域の自立に向けたまちづくり」を推進するため、地域住民の皆さんと知事との懇談会を開催します。

この懇談会は、北秋田市のこれからのまちづくりに向けて、地域住民の皆さんが夢と決意を語り合うものです。

現在、この懇談会の傍聴者を募集しています。希望する方は下記まで連絡をお願いします。

日時 11月30日(木) 14:30～16:00

場所 北秋田市交流センター

◎お問い合わせ
北秋田地域振興局地域企画課 ☎62-1251

鷹巣図書館からのお知らせ

11月29日～12月6日まで蔵書点検の為休館します。

図書館の本の返し忘れはありませんか?

期間中の返却は、文化会館入口のブックポストをご利用ください。

◎お問い合わせ 鷹巣図書館 ☎62-3311



市長交際費公表 10月分 種別、金額、件数

支出種別	支出金額	件数
慶弔費	13,800	2
会費	107,540	8
その他	10,000	1
合計	131,340	11

通行規制

主要地方道二ツ井森吉線「たたらトンネル」において、トンネル補修工事のため次のとおり通行規制を行いますので、ご協力をお願いします。

■場所
能代市二ツ井町
麻生地内

■規制内容
全面通行止め

■期間
平成18年11月20日～
平成19年3月31日



北秋田市民プール 高齢者スキューバダイビング講習会

足、腰、心肺の訓練にいかがですか?

日時 11月27日(月)、28日(火)、30日(木)
3日間 18:30～20:30

場所 北秋田市民プール

対象 65歳以上の方

定員 5名

内容 スキューバダイビングの初心者講習

受講料 1,000円(入館料は別です)

※シュノーケル、マスク、フィンが無料で貸し出します。

ディレクター 全日本潜水連盟理事 岸部 陸
市民プールコーチ陣

申し込み 11月24日(金)まで

◎申し込み・お問い合わせ
北秋田市民プール ☎62-5001

鷹巣祇園太鼓審査会

会場 北秋田市文化会館

■時間 開演13:00～終演16:00

■参加団体

- ①鷹巣小学校区②東小学校区③南小学校区
- ④西小学校区⑤綴子小学校区⑥中央小学校区
- ⑦亀森小学校区⑧鷹巣中学校⑨鷹巣南中学校
- ⑩高校・一般

特別出演 阿仁かざはり太鼓、合川新生園

■主催 鷹巣祇園太鼓審査会実行委員会

■後援 北秋田市・北秋田市教育委員会

11/23
(木)

北秋田市民病院(仮称)一次造成工事に伴う 伐根チップ、枝葉チップを市民に無料で提供します

日時 11月19日(日) 午前9:00~12:00 午後1:00~4:00

場所 北秋田市民病院(仮称)建設用地
北秋田市下杉字上清水沢16-29

用途 作業道路面への敷設、ガーデニングのチップ材としての利用、家畜舎へ敷料としての利用、堆肥の原料等

希望者 希望する方は当日、建設用地に直接おいでください。

※積載車両及び入れ物については各自で準備をしてください。ダンプ・トラック等の車両の方には、バックホーで積み込みします。

その他 多量に必要な方は事前に連絡をしてください。数量は調整する場合があります

◎お問い合わせ 市民生活部医療推進課 ☎62-6626



伐根チップ(粗)



枝葉チップ



伐根チップ(細)



テーマ 「みんなで広げよう 人の和・地域の輪」

平成18年度『鷹巣地区公民館まつり』

会場 北秋田市中央公民館

12/3
(日)

■開会 10:00 ~

- ・活動発表 10:15~10:45
坊沢・沢口・七日市公民館館長より
地区の活動について発表
- ・演説発表 10:45~12:00
朗読ボランティアやまびこ・坊沢ゴリエアロ・
コーラスを楽しむ講座(綴子)・綴子公民館舞踊サ
ークル・栄公民館新舞踊講座・沢口舞踊同好会
・七日市公民館新舞踊講座
- ・昼食 12:00~13:00
- ・講演 13:00~14:30 『安全な食品について』
JA秋田やまもとふれあい課長 泉 牧子 氏
- ・自主サークルの紹介 14:30~15:00

■閉会

- ◇作品展 各公民館サークル等の作品展示〔研修室〕
- 参加対象 どなたでもお気軽に参加ください。
- ◎お問い合わせ・参加申し込み
- 昼食代 500円
- 申込書にご記入のうえ、11月24日(金)まで、現金を添えて北秋田市中央公民館(62-1130)へお申し込みください。※申込書は中央公民館にあります。

○主催：北秋田市中央公民館・鷹巣地区各公民館

☆お知らせ

公民館を拠点に活動している自主サークルの紹介時間を設けます。
会員の募集等呼びかけたいサークルは11月24日(金)まで中央公民館へ申し込みください。

